

# 第 4 回 幹細胞シンポジウム

## プログラム

期 日 : 平成 18 年 5 月 19 日 (金) ~20 日 (土)

会 場 : 学術総合センター

当番幹事 : 自治医科大学 小澤 敬也

主 催 : 幹細胞シンポジウム

**5 月 19 日 (金)**

参加登録・ポスター貼付 12:30~13:30

開会の辞 当番幹事 小澤敬也 13:30~13:35

**セッション1 造血幹細胞のバイオロジー 13:35~14:35**

座長： 東京大学分子細胞生物学研究所 宮島 篤

- O-1** ヒト造血幹細胞の多分化能と自己複製能のクローンレベルでの証明  
八幡 崇、弓野 静、宇野トモ子、盛 音、六車ゆかり、安藤 潔  
(東海大学医学部再生医学センター)
- O-2** 造血幹細胞の自己複製と分化における DNA メチル化酵素 Dnmt3 の役割  
田所優子<sup>1</sup>、依馬秀夫<sup>1</sup>、岡野正樹<sup>2</sup>、En Li<sup>3</sup>、中内啓光<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup> 東京大学医科学研究所 幹細胞治療研究分野、<sup>2</sup> 独立行政法人理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 哺乳類エピジェネティクス研究チーム、<sup>3</sup>Novartis Institutes for Biomedical Research)
- O-3** ポリコム遺伝子 Bmi-1 による造血幹細胞の老化制御  
小黒秀行<sup>1,2</sup>、中内啓光<sup>2</sup>、岩間厚志<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup> 千葉大学大学院医学研究院 細胞分子医学、<sup>2</sup> 東京大学医科学研究所 幹細胞治療研究分野)
- O-4** 肝星細胞は造血幹細胞起源である  
宮田恵里、榊屋正浩、片山直之  
(三重大学血液内科、輸血部)

**セッション2 ES 細胞の増殖・分化・制御 14:35~15:35**

座長： 京都大学再生医科学研究所 山中伸弥

- O-5** マウス ES 細胞における Sox2 の真の役割  
升井伸治、中武悠樹、下里大輔、豊岡やよい、矢木利香、高橋一恵、丹羽仁史  
(理化学研究所・CDB・多能性幹細胞研究チーム)
- O-6** GATA-1 欠損による赤血球系細胞の自己複製能・分化多能性獲得  
北島健二、鄭 潔、仲野 徹  
(大阪大学大学院医学系研究科 21世紀 COE “CICET”)
- O-7** マウス ES 細胞における未分化性維持に関わる遺伝子の探索  
三浦美和子、高尾幸成、小出 寛、横田 崇  
(金沢大学大学院医学系研究科 再生分子医学)
- O-8** 線維芽細胞培養から ES 類似細胞を誘導する因子の同定  
高橋和利、一阪朋子、山中伸弥  
(京都大学再生医科学研究所 再生誘導研究分野、CREST、JST)

コーヒープレイク 15:35~15:50  
中会議室(1)(2)

**セッション 3 Notch シグナル 15:50~16:35**

座長： 慶應義塾大学医学部 岡野栄之

- O-9** 未分化メラノブラストの生存には Notch signal が必須である  
森山麻里子、大沢匡毅、西川伸一  
(理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 幹細胞研究グループ)
- O-10** Notch1 および Notch2 による色素幹細胞の制御  
熊野恵城<sup>1,2</sup>、増田茂夫<sup>1,2</sup>、李 碩瑛<sup>2</sup>、坂田麻実子<sup>1,2</sup>、齋藤俊樹<sup>1</sup>、佐田政隆<sup>3</sup>、  
富田 泰<sup>5</sup>、岩坪 威<sup>5</sup>、夏莉英昭<sup>5</sup>、黒川峰夫<sup>1</sup>、小川誠司<sup>4</sup>、千葉 滋<sup>2</sup>  
(東京大学大学院医学系研究科・医学部附属病院 <sup>1</sup>血液腫瘍内科、<sup>2</sup>無菌治療部、  
<sup>3</sup>循環器内科、<sup>4</sup>造血再生医療講座、<sup>5</sup>東京大学大学院薬学系研究科)
- O-11** Notch シグナルの制御因子 Mastermind-1 と -2 の遺伝子欠失マウスの作製  
小山敏尚<sup>1</sup>、張ヶ谷健一<sup>1</sup>、東 和彦<sup>1</sup>、Ablimit Muradil<sup>1</sup>、平原 潔<sup>3</sup>、  
山下政克<sup>2</sup>、中山俊憲<sup>2</sup>、坂本明美<sup>3</sup>、徳久剛史<sup>3</sup>、坂本怜子<sup>4</sup>、佐藤充治<sup>4</sup>、  
吉田進昭<sup>4</sup>、北川元生<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>千葉大学大学院医学研究院 腫瘍病理学、<sup>2</sup>免疫発生学、<sup>3</sup>分化制御学、<sup>4</sup>東京大学  
医科学研究所)

**セッション 4 消化器系と神経系の幹細胞 16:35~17:35**

座長： 理化学研究所 西川伸一

- O-12** 膵臓と胆管の器官分化：膵臓幹細胞の分化が停止して胆管が形成される  
須磨崎亮  
(筑波大学大学院・人間総合科学研究科・臨床医学系小児科)
- O-13** 新規成長因子 R-spondin1 の腸管上皮増殖促進作用  
富塚一磨<sup>1</sup>、大島 毅<sup>1</sup>、柿谷 誠<sup>1</sup>、Walter D. Funk<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>キリンビール株式会社 医薬探索研究所、<sup>2</sup>Nuvelo Inc.)
- O-14** 大脳皮質由来神経系前駆細胞の多分化能の発生時期依存的変化  
平林祐介、桑原 篤、中野徳重、増山典久、後藤由季子  
(東京大学分子細胞生物学研究所 情報伝達研究分野)
- O-15** 成体脳ニューロン新生における内在性神経幹細胞活性化機構の解析  
岡野栄之、坂口昌徳、今井貴雄、中尾圭子、島崎琢也、岡野ジェイムズ洋尚、  
澤本和延  
(慶應義塾大学医学部・生理学教室)

**特別講演 1 17:35~18:20**

座長： 慶應義塾大学医学部 須田年生

**テロメアの維持機構**

石川 冬木 (京都大学大学院生命科学研究科 細胞周期学分野)

**事務局連絡 18:20~18:25****懇親会 如水会館 スターホール 18:30~20:00**

## 5 月 20 日 (土)

## セッション 5 造血システム 9:30~10:15

座長： 大阪大学大学院医学系研究科 金倉 譲

**O-16** マウス胎生中期の AGM 分散培養より得られる造血幹細胞の濃縮

信久幾夫、大津直樹、田賀哲也

(熊本大学・発生医学研究センター・転写制御)

**O-17** 造血幹細胞の形成・維持に必須である MOZ は、PU.1, c-Myb 及び AML1 の転写アクチベーターとして作用し、TPO・SCF 受容体の発現を制御する

勝本拓夫<sup>1</sup>、相川祐規子<sup>1</sup>、岩間厚志<sup>4</sup>、市川 仁<sup>2</sup>、落谷孝広<sup>3</sup>、北林一生<sup>1</sup>

(国立がんセンター研究所・<sup>1</sup>分子腫瘍、<sup>2</sup>腫瘍発現解析、<sup>3</sup>癌転移、<sup>4</sup>千葉大医学部・細胞分子医学)

**O-18** Evi-1 による個体造血の制御機構

合山 進、山本 豪、佐藤智彦、小川誠司、千葉 滋、黒川峰夫

(東京大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍病態学)

## セッション 6 白血病・その他 10:15~11:00

座長： 東京大学大学院医学系研究科 黒川峰夫

**O-19** WT1 は白血病発症において癌遺伝子の作用を有する —AML1-ETO と協調し急速に AML を発症する—

西田純幸、白方俊章、杉山治夫

(大阪大学大学院医学系研究科 機能診断化学)

**O-20** ヒト白血病移植マウスモデルを用いた白血病ニッチェの解析

二宮 学、安部明弘、直江知樹

(名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学)

**O-21** ヒト B リンパ球培養系確立と支持機構解析

一井倫子、織谷健司、横田貴史、金倉 譲

(大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学)

## セッション 7 間葉系幹細胞・遺伝子治療 11:00~12:00

座長： 千葉大学大学院医学研究院 張ヶ谷健一

**O-22** 間葉系幹細胞による GVHD 制御の分子機構に関する基礎的検討

佐藤一也、尾崎勝俊、翁 家国、室井一男、小澤敬也

(自治医科大学 内科学講座血液学部門)

**O-23** 骨髄間質細胞による MPS VII マウスの脳病変に対する治療法の開発

櫻井 謙、大橋十也、衛藤義勝

(東京慈恵会医科大学小児科・DNA (研) 遺伝子治療研究部)

**O-24** 骨髄由来間葉系幹細胞 (MSC) を用いた癌組織をターゲティングする免疫遺伝子細胞治療開発

辛 紅<sup>1</sup>、兼平雅彦<sup>1,2</sup>、水口裕之<sup>3</sup>、早川堯夫<sup>3</sup>、貫和敏博<sup>2</sup>、西條康夫<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>東北大学大学院医学系研究科遺伝子医療開発分野、<sup>2</sup>東北大学加齢医学研究所呼吸器腫瘍研究分野、<sup>3</sup>国立医薬品食品衛生研究所)

- O-25** mGS 細胞とヒト人工染色体ベクターを用いた欠損型遺伝子治療への試み  
香月康宏<sup>1</sup>、星谷英寿<sup>1</sup>、甲斐義輝<sup>1</sup>、阿部智志<sup>1</sup>、滝口正人<sup>1</sup>、尾崎克彦<sup>1</sup>、篠原美都<sup>2</sup>、梶谷尚世<sup>1</sup>、白吉安昭<sup>1</sup>、平塚正治<sup>1</sup>、小倉淳郎<sup>3</sup>、篠原隆司<sup>2</sup>、押村光雄<sup>1</sup>  
 (1 鳥取大・院医・機能再生医科学、2 京都大・院医、3 理研)

**ポスターディスカッション** **12:00~13:30**  
**中会議室(1)(2) : 軽食付き**  
**( 幹事会 203 会議室 12:15~12:45 )**

**総会** 代表幹事 須田年生 **13:30~13:40**

**特別講演 2** **13:40~14:25**

座長： 自治医科大学 小澤敬也

**マウス ES 細胞の血管・リンパ管内皮細胞への分化機構**  
 宮園 浩平 (東京大学大学院医学系研究科・分子病理学)

**セッション 8 生殖系幹細胞 14:25~15:25**

座長： 大阪大学大学院医学系研究科 仲野 徹

- O-26** Ataxia-Telangiectasia-Mutated による精子幹細胞の維持機構  
田久保圭誉<sup>1</sup>、大村昌子<sup>2</sup>、東 真樹<sup>1,3</sup>、新井文用<sup>1</sup>、平尾 敦<sup>2</sup>、須田年生<sup>1</sup>  
 (1 慶應義塾大学医学部 発生・分化生物学、2 金沢大学 がん研究所、3 東京大学大学院医学系研究科 泌尿器科学)

- O-27** 核小体分子 Nucleostemin による生殖幹細胞制御機構  
大村昌子<sup>1</sup>、新井文用<sup>2</sup>、仲 一仁<sup>1</sup>、田久保圭誉<sup>2</sup>、東 真樹<sup>2</sup>、須田年生<sup>2</sup>、平尾 敦<sup>1</sup>  
 (1 金沢大学がん研究所 遺伝子染色体構築、2 慶應義塾大学医学部 発生・分化生物学)

- O-28** マウス Piwi ファミリーを介したレトロトランスポゾンの発現制御と生殖幹細胞の維持機構  
宮川(倉持)さとみ、浅田徳子、仲野 徹  
 (阪大・生命機能研究科/医学系研究科・幹細胞病理)

- O-29** ES 細胞・生殖系列特異的に発現する bHLH 型新規遺伝子 CUE318 の機能解析  
豊田秀一、宮崎竜志、宮崎早月、能村卓滋、山本まゆ、田代 文、倭 英司、宮崎純一  
 (大阪大学大学院医学系研究科 幹細胞制御学分野)

**セッション9**                      **幹細胞の分化と応用**                      **15:25~16:25**

座長： 千葉大学大学院医学研究院                      小室一成

- O-30**    マウス着床前胚における DNA メチル化維持機構の解明  
栗原由紀子、天野朋和、浅野知一郎、栗原裕基  
(東京大学医学系研究科 代謝生理化学)
- O-31**    Runx2 遺伝子は骨・軟骨芽細胞と精原細胞において、それぞれ全く異なる型の  
蛋白アイソフォームを発現する  
Rus Ciuca Dan、菅藤 哲、佐竹正延  
(東北大学加齢医学研究所 免疫遺伝子制御)
- O-32**    心臓 SP 細胞の分化と遊走能の *in vivo, in vitro* における検討  
小山知美、和田 浩、永井敏雄、松浦勝久、岩永孝治、高橋聖尚、小室一成  
(千葉大学大学院医学研究院 循環病態医科学)
- O-33**    精巣由来体性幹細胞の中胚葉から心筋、内皮への分化と心筋梗塞モデルへの  
移植による心機能解析  
馬場志郎、平家俊男、梅田雄嗣、岩朝 徹、鶏内伸二、平海良美、土井 拓、  
篠原美都、篠原隆司、中畑龍俊  
(京都大学大学院医学研究科、発生発達医学講座・分子生物学講座)

**閉会の辞**                      次回当番幹事    仲野 徹                      **16:25~16:30**

5 月 20 日 (土)

ポスターセッション

12:00~13:30

## 1 ES 細胞の増殖と分化

- P-1** 胚性幹細胞の分化システムを利用した分子のクローニング  
江良 沢実、武部 敦志、西川 伸一  
(理研・発生再生研・幹細胞)
- P-2** Polycomb 群遺伝子 Ring1A/B による ES 細胞の未分化性維持・分化制御のメカニズム  
遠藤 充浩、古関 明彦  
(理化学研究所・横浜研究所・RCAI・免疫器官形成研究グループ)
- P-3** マウス胚性幹細胞の未分化状態維持における  $\beta$ -カテニンの役割  
高尾 幸成、小出 寛、横田 崇  
(金沢大学大学院医学系研究科 再生分子医学)
- P-4** ES 細胞における polypyrimidine tract binding-protein の機能解析  
柴山 正樹、中武 悠樹、大坂 享史、田村 英彦、佐藤 充治、吉田 進昭  
(東京大学医科学研究所 遺伝子機能研究分野)
- P-5** ES 細胞において Klf4 は Oct3/4 と Sox2 と共に *Lefty1* を制御する  
中武 悠樹、福井 信敬、丹羽 仁史  
(理研 CDB 多能性幹細胞研究チーム)
- P-6** Zinc finger 蛋白 Sall4 は ES 細胞増殖に必須である  
榑 真代、小林 千余子、西中村 隆一  
(熊本大学発生医学研究センター細胞識別分野)
- P-7** 未分化マウス ES 細胞における細胞周期制御とユビキチンリガーゼ活性阻害因子  
Emi1 の発現機構  
藤井(山本)裕子、正井 久雄  
(東京都臨床医学総合研究所・ゲノム動態プロジェクト)
- P-8** 無血清培養系を用いた ES 細胞自己複製の最適化  
小川 和也<sup>1</sup>、松井 久典<sup>1</sup>、大塚 哲<sup>1</sup>、下里 大輔<sup>1,4</sup>、齋藤 朗<sup>2</sup>、鈴木 洋<sup>2,3</sup>、  
森下 保幸<sup>2</sup>、渡部 徹郎<sup>2</sup>、宮園 浩平<sup>2,3</sup>、丹羽 仁史<sup>1,4</sup>  
(<sup>1</sup>理研 発生・再生研 多能性幹細胞、<sup>2</sup>東大 院医 分子病理、<sup>3</sup>癌研 生化、  
<sup>4</sup>神戸大 院医 発生・再生医学)
- P-9** 多能性幹細胞を制御する細胞外因子の解析  
川添 真史郎<sup>1</sup>、渋谷 昌幸<sup>2</sup>、三木 研吾<sup>2</sup>、池田 信人<sup>2</sup>、押村 光雄<sup>1</sup>、白吉安 昭<sup>1</sup>  
(鳥取大、院医、<sup>1</sup>機能再生医科学、<sup>2</sup>生命科学)
- P-10** 胚盤胞内幹細胞を制御するパラクライン因子 FGF4 ならびに Bmp4 による  
シグナル伝達  
室橋 道子<sup>1</sup>、中村 能久<sup>2</sup>、田中 智<sup>3</sup>、市瀬 多恵子<sup>4</sup>、吉田 進昭<sup>4</sup>、澁谷 正史<sup>1</sup>、  
後藤 典子<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東京大・医科研・腫瘍抑制、<sup>2</sup>東京大・医科研・癌細胞シグナル、<sup>3</sup>東京大・  
獣医生化学、<sup>4</sup>東京大・医科研・遺伝子機能)
- P-11** 霊長類 ES 細胞からの赤血球への選択的分化誘導の試み  
梅田 雄嗣、平家 俊男、新井 真人、篠田 現、馬 峰、中畑 龍俊  
(京都大学発達小児科学)

- P-12** マウス ES 細胞の神経分化過程において染色体異数性が引き起こすアポトーシスの解析  
甲斐義輝<sup>1</sup>、香月康宏<sup>1</sup>、阿部智志<sup>1</sup>、滝口正人<sup>1</sup>、岸上哲士<sup>3</sup>、若山照彦<sup>3</sup>、Chi Chiu Wang<sup>4</sup>、押村光雄<sup>1</sup>  
 (1 鳥取大学大学院医学系研究科機能再生医科学専攻、<sup>2</sup> 理研 発生・再生科学総合研究センターゲノム・リプログラミング研究チーム、<sup>3</sup> Dept. of OBGY, The Chinese Univ. of Hong Kong, Shatin, Hong Kong)
- P-13** マウス ES 細胞から誘導された神経堤細胞の解析  
本橋 力、千葉海理、國貞隆弘  
 (岐阜大学大学院・再生医科学独立専攻・組織器官形成統御部門)
- P-14** Default neurogenesis にて顕在化する胚性幹(ES)細胞の「クセ」  
加藤英政、伊藤亜佐子、許 山海、佐藤 出、加藤君子、川口典彦  
 (東北大学先進医工学研究機構 生命機能科学分野)
- P-15** ES 細胞を用いた血管多様化機構の解析 ―新しい構成的発生生物学の試み―  
山下 潤  
 (京都大学再生医科学研究所 幹細胞分化制御研究領域)
- P-16** ES 細胞由来血管内皮細胞の増殖に対する BMP シグナルの作用  
渡部徹郎、鈴木夕佳、Kevin Montagne、宮園浩平  
 (東京大学大学院 医学系研究科 分子病理学講座)
- P-17** ES 細胞を利用する移植・再生治療の安全性に関する研究  
花園 豊<sup>1</sup>、岸友紀子<sup>1</sup>、田中裕次郎<sup>1</sup>、池田たま子<sup>1</sup>、柴田宏昭<sup>1,2</sup>、村松慎一<sup>2</sup>、揚山直英<sup>3</sup>、林 聡<sup>4</sup>、北野良博<sup>4</sup>、阿部朋之<sup>1,5</sup>、長尾慶和<sup>5</sup>、寺尾恵治<sup>3</sup>  
 (1 自治医科大学再生医学研究部、<sup>2</sup> 自治医科大学神経内科、<sup>3</sup> 霊長類医科学研究センター、<sup>4</sup> 国立成育医療センター、<sup>5</sup> 宇都宮大学農学部)
- P-18** 自殺遺伝子を導入したより安全な移植用 ES 細胞の開発  
古寺美加<sup>1</sup>、村松慎一<sup>1</sup>、奈良優子<sup>1</sup>、滝野直美<sup>1</sup>、西田紘子<sup>1</sup>、奥野 剛<sup>2</sup>、小西奈依<sup>2</sup>、道端英夫<sup>2</sup>、鈴木 豊<sup>2</sup>、近藤 靖<sup>2</sup>、仁藤新治<sup>2</sup>、中野今治<sup>1</sup>  
 (1 自治医大神経内科、<sup>2</sup> 田辺製薬先端医学研究所)

## 2 造血幹細胞／造血器腫瘍

- P-19** 骨髄 Niche における線溶系因子の機能解析  
秋山晴代<sup>1</sup>、Heissig Beate<sup>1,2</sup>、守田陽平<sup>1</sup>、中内啓光<sup>1</sup>、Lund R Leif<sup>3</sup>、Werb Zena<sup>4</sup>、服部浩一<sup>1,2</sup>  
 (1 東京大学医科学研究所、<sup>2</sup> 順天堂大学医学部アトピー疾患研究センター、<sup>3</sup> コペンハーゲン大学フィンセン研究所、<sup>4</sup> カリフォルニア大学サンフランシスコ校)
- P-20** 造血幹細胞の冬眠様状態維持における Lipid-raft の役割  
山崎 聡、岩間厚志、高柳晋一郎、依馬秀夫、中内啓光  
 (東京大学医科学研究所 幹細胞治療研究分野)
- P-21** stromal cell-derived factor 1 $\alpha$  (CXCL12/SDF-1 $\alpha$ ) における Cbl、Cbl-b の機能  
岡部聖一、田内哲三、大屋敷一馬  
 (東京医科大学 血液内科)
- P-22** 臍帯血由来造血前駆細胞のエリスロポエチン反応性についての検討  
野口満帆、田代晴子、白崎良輔、後藤守孝、川杉和夫、白藤尚毅  
 (帝京大学医学部血液内科)
- P-23** 活性型 FKHRL1 を用いた CML 治療薬イマチニブ耐性克服に向けての基礎的研究  
菊池 悟<sup>1</sup>、小松則夫<sup>2</sup>、永井 正<sup>1</sup>、小澤敬也<sup>1</sup>  
 (1 自治医科大学 内科学講座血液学部門、<sup>2</sup> 山梨大学医学部 血液科)



- P-24** 白血病細胞における EVI1 遺伝子依存性 GATA-2 転写調節  
島原明子、西片一朗、森下和広  
 (宮崎大学医学部 機能制御学講座腫瘍生化学分野)
- P-25** TPO と TNF- $\alpha$  で誘導された DC による自己巨核球系前駆細胞の貪食と血球貪食症候群  
斎藤邦江、廣川 誠、深谷博志、川端良成、小松田敦、山下順助、澤田賢一  
 (秋田大学医学部内科学第 3 講座)
- P-26** 慢性骨髄増殖性疾患における Jak2V617F 遺伝子変異と相同的な Tyk2 の遺伝子変異  
幣光太郎、下田和哉、亀崎健次郎、沼田晃彦、角光晴子、熊野 孝、石川文彦、竹中克人、原田実根  
 (九州大学医学研究院病態修復内科学)
- P-27** MLL-ELL(+) 骨髄芽球は線維芽細胞に変形する  
田代晴子、野口満帆、白崎良輔、白藤尚毅  
 (帝京大学 血液内科)
- P-28** ヒト第 8 番染色体 FEZ1 遺伝子による体細胞のゲノム安定性制御  
石井秀始、古川雄祐  
 (自治医科大学 分子病態治療研究センター 幹細胞制御研究部)
- P-29** レトロウイルスベクター染色体挿入部位が導入遺伝子発現に与える影響  
濱仲早苗<sup>1</sup>、大津 真<sup>1</sup>、長澤俊郎<sup>1</sup>、中内啓光<sup>2</sup>、小野寺雅史<sup>1</sup>  
 (1 筑波大学人間総合科学研究科医学専攻、<sup>2</sup> 東京大学医科学研究所・幹細胞治療)
- P-30** レトロウイルスベクター導入 ES 細胞より作製したトランスジェニックマウスに発症した B リンパ腫の解析  
平田裕美、濱仲早苗、大津 真、川上 康、小野寺雅史  
 (筑波大学医科学研究科医科学専攻 臨床病理学遺伝子細胞治療部)

### 3 その他の様々な幹細胞

- P-31** 間葉系幹細胞 (MSC) モデル細胞株を用いた網羅的遺伝子発現解析と T 細胞分化に及ぼす MSC の影響  
翁 家国、佐藤一也、尾崎勝俊、小澤敬也  
 (自治医科大学内科学講座 血液学部門)
- P-32** ヒト骨髄由来間葉系幹細胞及び骨芽細胞による CD34 陽性細胞の増幅  
柴崎康彦、増子正義、相澤義房  
 (新潟大学大学院医歯学総合学研究科血液学分野)
- P-33** ヒト臍帯血間葉系幹細胞 UCBTERT からの肝細胞分化誘導  
吉田陽子<sup>1</sup>、石井恭子<sup>1</sup>、梅澤明弘<sup>2</sup>、汐田剛史<sup>1</sup>  
 (1 鳥取大学大学院医学系研究科 遺伝子医療学、<sup>2</sup> 国立成育医療センター研究所 生殖医療研究部)
- P-34** ベクター産生型間葉系幹細胞の開発と癌治療への応用  
内堀亮介、岡田尚巳、松下 卓、卜部匡司、水上浩明、久米晃啓、小澤敬也  
 (自治医科大学分子病態治療研究センター遺伝子治療研究部)
- P-35** 骨髄肝前駆細胞の検討  
山田恭裕<sup>1</sup>、西本英史<sup>1</sup>、満屋裕明<sup>1</sup>、米村雄士<sup>1,2</sup>  
 (1 熊本大学医学部血液内科、<sup>2</sup> 熊本大学医学部附属病院輸血部)

- P-36** マウス成体肝臓からの肝幹細胞および胆管幹細胞の分離と同定  
紙谷聡英、中内啓光  
(東京大学医科学研究所 高次機能研究分野)
- P-37** 心筋再生に関与するマウス骨髄由来前駆細胞の同定  
深田光敬<sup>1</sup>、石川文彦<sup>1,2</sup>、下田和哉<sup>1</sup>、赤司浩一<sup>3,4</sup>、原田実根<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>九州大学大学院医学研究院 病態修復内科学、<sup>2</sup>RIKEN 免疫・アレルギー科学総合研究センター、<sup>3</sup>九州大学病院 遺伝子細胞療法部、<sup>4</sup>Department of Cancer Immunology and AIDS, Dana-Farber Cancer Institute)
- P-38** 分化転換による骨格筋からの造血前駆細胞/幹細胞誘導の試み：脱分化遺伝子 Msx1 の一過性発現を用いて  
信吉正治<sup>1</sup>、久米晃啓<sup>1</sup>、水上浩明<sup>1</sup>、松下 卓<sup>1</sup>、岡田尚巳<sup>1</sup>、卜部匡司<sup>1</sup>、大越有一<sup>2</sup>、遠藤 剛<sup>2</sup>、小澤敬也<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>自治医科大学 遺伝子治療研究部、<sup>2</sup>千葉大学大学院 自然科学研究科)
- P-39** RMCE による頭部神経堤細胞への遺伝子ノックインと分化・形態形成研究への応用  
佐藤崇裕、天野朋和、河村悠美子、栗原由紀子、栗原裕基  
(東京大学大学院医学系研究科 代謝生理化学分野、発生・医療工学 (三共))
- P-40** 生後脳神経新生を制御する転写因子 Pax6 の下流因子 FABP7 の解析  
前川素子<sup>2</sup>、松股美穂<sup>1</sup>、大和田祐二<sup>3</sup>、湯浅茂樹<sup>2</sup>、大隅典子<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東北大学医学系研究科形態形成解析分野、<sup>2</sup>国立精神神経センター 微細構造研究部、<sup>3</sup>東北大学医学系研究科細胞組織学分野)
- P-41** A carbohydrate binding protein, Galectin-1, promotes proliferation of adult neural stem cells  
Masanori Sakaguchi, Tetsuro Shingo, Takuya Shimazaki, Hiroataka James Okano, Mieko Shiwa, Satoru Ishibashi, Hidehiro Mizusawa, Hiromitsu Nakauchi, Kazunobu Sawamoto, and Hideyuki Okano  
(慶應義塾大学医学部 生理学教室)
- P-42** 神経幹細胞の新しいモデル系としてのショウジョウバエ幼虫視覚原基の増殖中心  
中尾啓子、織原美奈子、鳥谷真佐子、岡野栄之  
(慶應義塾大学医学部 生理学教室)
- P-43** 新しい子宮内膜モデルマウスとそのリアルタイム解析システムの開発  
升田博隆<sup>1,2</sup>、丸山哲夫<sup>1</sup>、長島 隆<sup>1</sup>、小野政徳<sup>1</sup>、内田 浩<sup>1</sup>、杉浦育子<sup>1</sup>、伊藤 守<sup>3</sup>、岡野栄之<sup>2</sup>、松崎有未<sup>2</sup>、吉村泰典<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部産婦人科学教室、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部産生理学教室、<sup>3</sup>実験動物中央研究所)
- P-44** マウス四肢発生を制御する転写因子の WISH 法による網羅的解析と、その発現データベースの構築  
横山成俊、橋本 徳、味八木茂、永井 茜、鈴木崇将、日方智宏、内藤広信、長田忠大、工藤寛枝、田中輝幸、浅原弘嗣  
(国立成育医療センター研究所 移植・外科研究部)
- P-45** 血管新生におけるマトリックスメタロプロテイナーゼの機能解析  
佐藤弥生、大木勇一、ハイジヒ・ベアテ、服部浩一  
(東京大学医科学研究所幹細胞制御領域)
- P-46** 幹細胞研究用モデルの開発 : LacZ-luciferase transgenic rat  
袴田陽二<sup>1</sup>、村上 孝<sup>2</sup>、小林英司<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>日本獣医生命科学大学 獣医学部獣医保健看護、<sup>2</sup>自治医科大学 分子病態治療研究センター 臓器置換研究部)